

第1回ファシリテーション研修 成果

参加した LA 対象に講師の三田地真実氏独自の事後アンケートを実施した。その結果(有効回答数 30)を下記に示す。

「今回の研修に対する期待度(研修を受ける「前の」期待度)」の項目で、「大変期待していた」と回答した LA が 3.3%に対し、「今回の研修の満足度(実際に研修に参加された「後の」満足度)」の項目で、「大変満足している」と回答した LA が 73.3%となった(表 1)。

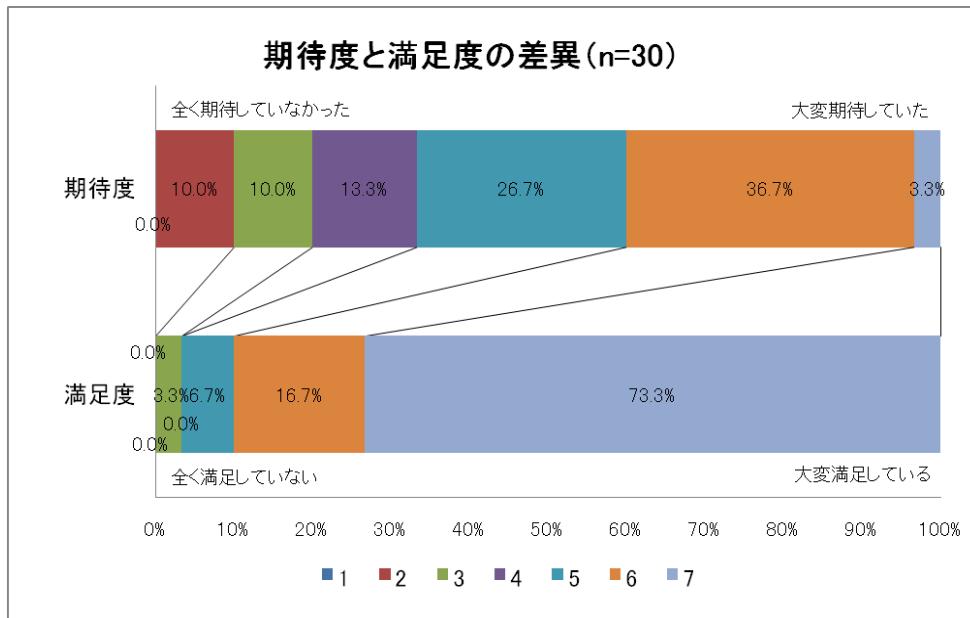


表 1

また、今回の研修は、LA としてグループワークに関わる際に役立つと思うかとの質問では、「つよくそう思う」と回答した LA が 70.0%になった(表 2)。

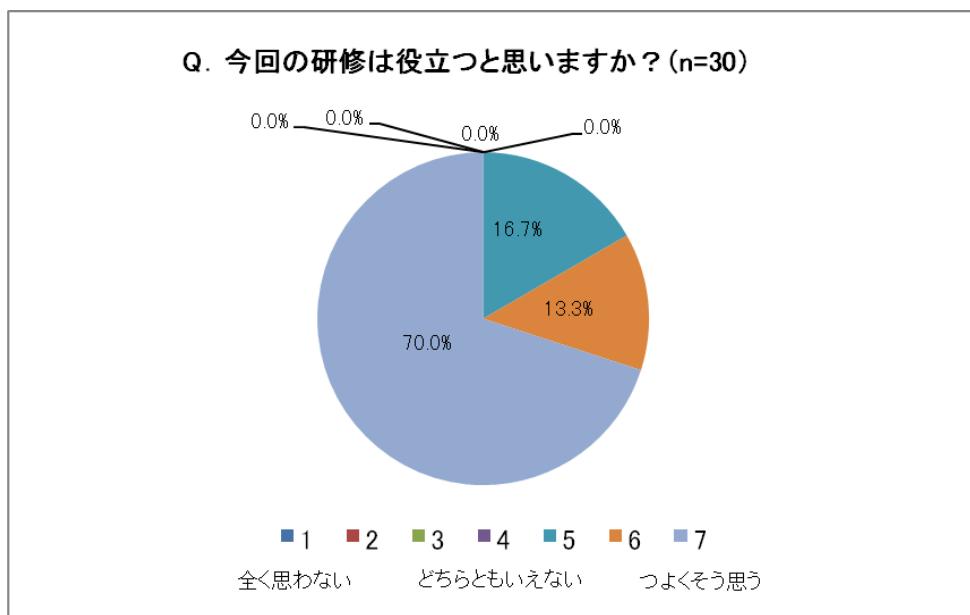


表 2

また、「今回の研修で得た心得や技のうち、LAとして働く上で、特に重要なと思うもの」との質問（自由記述）には、下記のような回答があった。

- ・ Why?を考えて適切な対応をすること
- ・ 高圧的な態度を取らず、話しかけやすい雰囲気を作ること
- ・ “根拠”を持って“動く”
- ・ コミュニケーション能力、観察力
- ・ 傾聴とそれに関わる態度（行動）の大切さ
- ・ 空間づくりやグループの大きさ、タイムキープの大切さ
- ・ 話し合いにおいて皆の発言を自然に促せる雰囲気づくりや方法
- ・ 常に冷静に議論の方向を見守り観察すること

以上のように、LAとして働く上で、受講生が話しかけやすい雰囲気を作るため、態度や行動の大切さ、コミュニケーション能力や観察力の重要性を今回の研修で感じたようだ。

当初、研修としての期待度は高くなかったようだが、実際研修を受け、LA業務をする上で役立つ内容であり、自分自身やグループワークでの立ち振る舞いについて考えさせられる満足度の高い研修であったと言える。